

京都大学大学院医学研究科規程

第1 専攻

第1条 本研究科の専攻は、次に掲げるとおりとする。

医学専攻

医科学専攻

社会健康医学系専攻

人間健康科学系専攻

京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻

2 前項の専攻は、博士課程とする。ただし、社会健康医学系専攻の前期2年の課程は、専門職学位課程とする。

第1条の2 京都大学通則（以下「通則」という。）第53条の2第3項ただし書の規定による標準修業年限は、1年とする。

2 前項の規定は、医学研究科会議（以下「研究科会議」という。）が定める資格又は要件を具備する者について、研究科会議が定める教育課程を履修する場合に適用する。

第2 入学

第2条 入学手続及び入学者選抜方法は、研究科会議で定める。

2 通則第36条の2第1項ただし書及び第2項の規定による入学に関する事項は、研究科会議で定める。

第3条 入学候補者の決定は、研究科会議で行う。

第2の2 長期履修

第3条の2 人間健康科学系専攻の博士後期課程において、通則第36条第8項の規定により標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを志望する者には、研究科会議の議を経て、許可することがある。

第3 転学、転科及び転専攻

第4条 通則第40条第1項の規定により本研究科に転学又は転科を志望する者には、研究科会議の議を経て、許可することがある。

2 本研究科学生で、転専攻を志望する者には、研究科会議の議を経て、許可することがある。

第4 授業、研究指導及び学修方法

第5条 科目、その単位数、授業時間数及び研究指導に関する事項は、研究科会議で定める。

2 前項の学修に関する事項は、学事要項を作成して、学生に周知させるものとする。

第6条 各学生の指導教員は、研究科会議で定める。

2 学生は、学修につき、指導教員の指導を受けなければならない。

第7条 学生は、毎学年の初めに学修する科目を定め、医学研究科長の承認を受けなければならない。

第8条 通則第44条第1項又は第53条の7第1項の規定により他の研究科等の科目を学修し、又は他の研究科において研究指導を受けようとする者は、指導教員の承認を得て、所定の期日までに医学研究科長に願出しなければならない。

2 他の研究科等の科目の学修及び他の研究科において受ける研究指導については、当該研究科等の定めるところによる。

第9条 通則第45条第1項、第2項若しくは第4項又は第53条の8第1項から第3項までの規定により他の大学の大学院の科目を学修し、又は外国の大学の大学院に留学し、その科目を学修しようとする者には、研究科会議の議を経て、許可することがある。

2 通則第46条第1項の規定により他の大学の大学院若しくは研究所等において研究指導を受け、又は休学することなく外国の大学の大学院若しくは研究所等に留学し、研究指導を受けようとする者には、研究科会議の議を経て、許可することがある。

3 前2項の規定による許可の願出については、前条第1項の規定を準用する。

第10条 次の各号に掲げる科目、単位数、研究指導及び在学年数は、研究科会議の議を経て、それぞれ修士課程、博士後期課程、博士課程又は専門職学位課程の修了に必要な科目、単位数、研究指導又は在学年数として認定することができる。

(1) 転学、転科又は転専攻前に、本学又は他の大学の大学院で学修した科目、単位数、受けた研究指導及び在学年

数の一部又は全部

(2) 第8条第1項の規定により学修した科目、単位数及び受けた研究指導の一部又は全部

(3) 前条第1項又は第2項の規定により学修した科目、単位数及び受けた研究指導の一部又は全部

(4) 通則第46条の2第1項又は第53条の9第1項の規定により本研究科に入学する前に大学院において履修した科目について修得した単位数（大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第15条において準用する大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第31条に定める科目等履修生として修得した単位数を含む。）の一部又は全部

2 前項第4号の規定により本研究科（専門職学位課程に限る。）に入学する前に大学院において履修した単位数を専門職学位課程の修了に必要な単位数として認定するときは、通則第53条の13の規定により、研究科会議の議を経て、1年を超えない範囲で専門職学位課程に在学したものとみなすことがある。

第5 試験

第11条 科目の試験の期日及び方法は、研究科会議で定める。

第6 論文等の審査、課程修了の認定等

第12条 修士論文及び博士論文の審査及び試験は、京都大学学位規程の定めるところにより、研究科会議で行う。

第12条の2 通則第53条の12第1項の規定により専門職学位課程の修了の要件として定める教育課程の履修は、専攻科目につき30単位以上修得し、かつ、特定の課題についての研究の成果を認定されることとする。

2 前項の特定の課題についての研究の成果の審査及び試験は、研究科会議で行う。

第13条 修士課程、博士後期課程、博士課程及び専門職学位課程修了の認定は、研究科会議で行う。

第14条 通則第57条の規定により学位の授与を申請した者の学識の確認は、専攻学術に関する試問のほか、外国語1か国語の試問を課する。

2 前項の規定による試問は、筆答及び口頭により行う。ただし、研究科会議の議を経て、他の方法によることができる。

3 第1項に規定する者に係る提出論文の審査及び試験は、博士後期課程及び博士課程における論文の審査及び試験と同一の手続による。

第15条 本研究科の博士後期課程に所定の年限在学し、必要な研究指導を受けて退学した者又は本研究科の博士課程に所定の年限在学し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けて退学した者が、通則第57条の規定により学位の授与を申請したときは、研究科会議の議を経て、前条第1項に規定する学識確認のための試問を免除することができる。

第7 外国学生、委託生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生、特別研究学生及び特別交流学生

第16条 外国学生、委託生、科目等履修生又は聴講生として入学を志望する者には、選考のうえ、研究科会議の議を経て、許可することがある。

2 通則第63条第1項の規定による特別聴講学生、同条第2項の規定による特別研究学生又は同条第3項の規定による特別交流学生として入学を志望する者には、研究科会議の議を経て、許可することがある。

附 則 [中間の改正規程の附則は、省略した。]

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

◆社会健康医学系専攻について

(<http://sph.med.kyoto-u.ac.jp/>)

1. 本専攻の概要

社会健康医学系専攻の使命は、医学・医療と社会・環境とのインターフェースを機軸とし以下の活動とその相互作用を通じて、人々の健康と福祉を向上させることである。

○教育 (Teaching)

社会健康医学に関わる実務、政策、研究、教育において専門的かつ指導的役割を身につける幅広い教育を行う。

○研究 (Research)

人々の健康に関わる経済、環境、行動、社会的要因についての知識を深め、新しい知識と技術を生み出す。

○成果の還元 (Translating Research into Practice and Policy)

その成果を健康・医療に関わる現実社会の実践方策と政策に還元する。

○専門的貢献 (Professional Practice)

専門の知識と技術を持って、個人・組織・地域・国・世界レベルで貢献する。

健康に関する問題は非常に広い範囲にわたっており、本専攻の教員、学生のテーマや専門性も多岐に渡っている。本専攻には、定量的評価に不可欠な疫学、統計に関する基礎領域から、ゲノム情報と健康のかかわり、医療の質の評価や経済的評価、倫理的側面、社会への健康情報の発信、健康増進と行動変容、健康の社会的決定要因、健康格差、グローバルヘルス、感染症など危機管理に関する研究や気候変動など環境要因と健康に関する研究、ヘルスコミュニケーションや質的研究など、さまざまな教育・研究を推進する分野が設置されている。

2. 教育課程

本専攻は、専門職学位課程（実務者レベル）2年と博士後期課程（研究者、教育者レベル）3年に区分され、専門職学位課程は、さらに、基幹課程である2年制 MPH コースをはじめ、1年制 MPH コース、臨床研究者養成（MCR）コース（1年制）、遺伝カウンセラーコース（2年制）、臨床統計家育成コース（2年制）を含めて5コースに分かれている。

教育内容として、下記のコア5領域が定められており、これらの領域を構成する科目を、必修（コア領域1、2）、選択必修（コア領域3、4、5）と指定している。いずれのコースでも5領域から最低1科目（コア領域1は2科目）の履修を必要とする。

区分		科目コード	科目名	責任者	単位	備考
MPH コア 5領域	コア領域1	H118000	疫学Ⅰ（疫学入門）	中山	1	必修
		H119000	疫学Ⅱ（研究デザイン）	山本（洋）	1	必修
	コア領域2	H001000	医療統計学	佐藤	2	必修
	コア領域3	H070000	感染症疫学	西浦	1	
		H124000	産業・環境衛生学	西浦	1	
	コア領域4	H166000	医療制度・政策・経済	今中	2	
		H126000	保健・医療の経済評価	今中	1	MCR コース 受講不可
		H127000	社会健康医学と健康政策	健康政策の 運営委員会	2	
		H109000	医薬政策・行政	川上	1	後期
	コア領域5	H075000	行動科学	田近	1	
		H076000	基礎医療倫理学	中島	1	
		H077000	医学コミュニケーション基礎	岩隈	1	
		H157000	社会疫学	近藤	2	

※前年度以前開講科目の科目変更については、「(別表) 科目変更対応表」を確認すること。

医学研究科人間健康科学系専攻、公共政策大学院、経営管理大学院、法学研究科、アジア・アフリカ地域研究研究科、工学研究科、「グローバル生存学大学院連携プログラム」、「政策のための科学プログラム」の予め定められた科目の履修・単位取得が可能。ただし、修了に必要な単位とはならない。具体的にはシラバス巻末およびホームページを参照。

URL: <http://sph.med.kyoto-u.ac.jp/syllabus.html>

(1) 専門職学位課程

専門職学位課程に2年以上(2年制コース)もしくは1年以上(1年制コース)在学し、下記の30単位以上を修得し、本専攻が定める教育課程を修了することが「社会健康医学修士(専門職)」取得の要件である。

なお、1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限は、原則42単位とする。ただし、特別コース・特別プログラム(1年制MPHコース、臨床研究者養成(MCR)コース、遺伝カウンセラーコース、臨床統計家育成コース、知的財産経営学プログラム)の履修者が、特別コース・特別プログラムにおける必修科目等を履修する場合は超過を認める。その他、やむを得ない事情により履修登録上限単位数を緩和する必要がある場合には、指導教員の申し出により超過を認めることがある。

[2年制MPHコース]

科目	「医療系」 出身者*	「医療系」以外 出身者
MPH コア 5 領域 (コア領域 1 - 5 のすべての領域を含む) (注1)	10	10
MPH 必修 (医学基礎 I (注3)・II、臨床医学概論) (注2)	—	6
課題研究	4	4
選択 (特別プログラムで指定されるものを含む)	16	10
計	30	30

※「医療系」出身者：医学部・看護学部・歯学部・薬学部・公衆衛生学部などの医療系学部の出身者

上記以外でかつ生物系等学部、医療系短期大学及び医療系専門学校の出身者であっても医療系の国家資格を取得できるコースの出身者が「医療系」出身者として認定を希望する場合は、一括認定の対象とする。

「上記の一括認定で認定されなかった者」で、「医療系」出身者としての認定を求める際は、入学時に申請が必要である。

(注1) MPH コア科目を10単位を超えて取得した場合は、選択科目として算入する。

(注2) MPH 必修を、「医療系」出身者の学生が取得した場合、学位取得に必要な30単位に算入することはできない。

(注3) 令和4年度以降は「医学基礎 I」として、「医学基礎 I (生理学 I)」「医学基礎 I (神経生理学)」「医学基礎 I (解剖学)」あるいは「医学基礎 I (基礎人類遺伝学)」のいずれか履修すること。

課題研究：専門職学位課程共通。テーマ毎に、最も適切な研究室に配属し、研究アイデアから研究プロトコルの作成、データ収集と解析、結果の考察などを経験し、プレゼンテーションを行う。プレゼンテーションを行う者は、プレゼンテーションを行う当該年度に修了見込みの者に限られる。

既修得単位の認定：本専攻では上記コア領域科目の受講を推奨しているが、他大学院における取得単位について、コア領域1～5に相当する科目を対象に最大10単位以内を既修得単位として認定する場合がある。認定を希望する場合は、入学時に申請が必要である。

[専門職学位課程特別コース・特別プログラム]

本専攻は、下記の特別コースを有する。これらの特別コースは入試枠が異なり、入学後にコース間の移動はできない。加えて、下記の如く、本専攻が修了を認める特別プログラムがある。

これらの詳細は、別途、「◇専門職学位課程特別コース及び特別プログラムについて」に後述する。

<特別コース>

- 1) 1年制MPHコース (1年で修了しうるが、修了要件は上記の2年制MPHコースと同じ。)
- 2) 臨床研究者養成(MCR)コース
- 3) 遺伝カウンセラーコース
- 4) 臨床統計家育成コース

<特別プログラム>

- 1) 知的財産経営学プログラム
- 2) 医療経営ヤングリーダー・プログラム

(2) MPH-DrPH 課程について

出願資格：1) 修士相当の学位を有する者 あるいは、2) 医師・歯科医師の内、2年以上の臨床経験あるいは卒後臨床研修を修了した者。

上記出願資格1)、2)の条件を満たし、専門職学位課程に引き続き本専攻博士後期課程に進学を希望する者で、学部あるいは修士の履修成績、入学試験および専門職学位課程入学後の成績も優秀であり、意欲と能力のある者は、審査を受け、本専攻博士後期課程の受験資格を認定された場合、専門職学位課程の修了要件を満し、かつ上記の博士後期課程入学試験に合格することにより、1年次修了時点で博士後期課程に進学できる。

受験資格の認定を希望する者は、前期にコア科目8単位以上を取得(見込)したうえで、MPH-DrPH課程の願書、志望理由書、指導教員の推薦書(注)と、修士相当の者は、1) 修士学位の証明と修士および学部の成績、あるいは医師・歯科医師の者は、2) 臨床経験あるいは卒後臨床研修と在職証明書を添えて8月4日(金)までに教務課大学院教務掛に提出すること(認定を希望する者は、提出に先立ち、教務課大学院教務掛に事前に相談すること)。

本課程は、あくまで、博士後期課程への進学を前提としたものであり、進学しない場合は、1年次修了は無効となる。

(注) 課題研究に関する情報(課題名、プロトコル、進捗状況を示す資料等)は必須ではないが、推薦書に添付することができる。

(3) 博士後期課程

博士後期課程に3年以上在学し、研究指導を受け、下記の所定単位を修得し、博士論文の審査および試験に合格することが「博士(社会健康医学)」取得の要件である。なお、1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限は、原則42単位とする。

2022年度入学者より、大学院教育コース「社会健康医学・臨床疫学研究」において学位論文の中間ヒアリングとチューターシステムを導入することによって、大学院生の研究進捗状況をチェックし、必要に応じてアドバイスを与えることによって研究レベルの向上をサポートする体制を強化する。2年次あるいは3年次に中間ヒアリングにおいてチューターが研究進捗状況をチェックし、適切な研究方針で研究しているか、順調に研究が進展しているかなどを確認・審査する。中間ヒアリングに合格することが「実習」2単位の修得要件となる。

【2021年度以前入学者】

科目	本専攻専門職学位課程修了者以外		本専攻専門職学位課程修了者	
	「医療系」出身者*	「医療系」以外出身者		
博士課程セミナー	6	6	6	
専門職学位課程授業科目	MPHコア5領域(コア領域1-5のすべての領域を含む)	7(領域1と領域2は、それぞれ2単位)	7(領域1と領域2は、それぞれ2単位)	—
	MPH必修(医学基礎I(注1)、医学基礎II、臨床医学概論)	—	6	—
計	13	19	6	

【2022年度以降入学者】

科目	本専攻専門職学位課程修了者以外		本専攻専門職学位課程修了者	
	「医療系」出身者*	「医療系」以外出身者		
博士課程セミナー	6	6	6	
大学院教育コース:社会健康医学・臨床疫学研究(演習)(1年次~)	4	4	4	
大学院教育コース:社会健康医学・臨床疫学研究(実習)(2年次~)	2	2	2	
専門職学位課程授業科目	MPHコア5領域(コア領域1-5のすべての領域を含む)	7(領域1と領域2は、それぞれ2単位)	7(領域1と領域2は、それぞれ2単位)	—
	MPH必修(医学基礎I(注1)、医学基礎II、臨床医学概論)	—	6	—
計	19	25	12	

※「医療系」出身者：医学部・看護学部・歯学部・薬学部・公衆衛生学部などの医療系学部の出身者

上記以外でかつ生物系等学部、医療系短期大学及び医療系専門学校出身者であっても医療系の国家資格を取得できるコースの出身者が「医療系」出身者として認定を希望する場合は、一括認定の対象とする。

「上記の一括認定されなかった者」で、「医療系」出身者としての認定を求める際は、入学時に申請が必要である。

(注1) 令和4年度以降は「医学基礎Ⅰ」として、「医学基礎Ⅰ(生理学Ⅰ)」「医学基礎Ⅰ(神経生理学)」「医学基礎Ⅰ(解剖学)」あるいは「医学基礎Ⅰ(基礎人類遺伝学)」のいずれか履修すること。

※既修得単位の認定：本専攻では上記コア領域科目の受講を推奨しているが、他大学院における取得単位について、コア領域1～5に相当する科目を対象に最大7単位以内を既修得単位として認定する場合がある。認定を希望する場合は、入学時に申請が必要である。

令和5年度 社会健康医学系専攻 専門職学位課程 全授業科目一覧表

区分	科目コード	科目名	期間		担当教員	単位	備考	レベル
			前期	後期				
MPH コア 必修	H118000	領域1 疫学Ⅰ（疫学入門）	○*		中山教授	1		基礎
	H119000	領域1 疫学Ⅱ（研究デザイン）	○前半		山本教授	1		基礎
	H001000	領域2 医療統計学	○		佐藤教授	2		基礎
MPH コア 選択 必修	H070000	領域3 感染症疫学	○後半		西浦教授	1		基礎
	H124000	領域3 産業・環境衛生学	○前半		西浦教授	1		基礎
	H166000	領域4 医療制度・政策・経済	○		今中教授	2		中級
	H127000	領域4 社会健康医学と健康政策	○		健康政策の運営委員会	2		基礎
	H109000	領域4 医薬政策・行政		○前半	川上教授	1		中級
	H126000	領域4 保健・医療の経済評価	○前半		今中教授	1	MCR コース生は受講不可	中級
	H075000	領域5 行動科学	○前半		田近准教授	1		基礎
	H076000	領域5 基礎医療倫理学	○前半		中島准教授	1		基礎
	H077000	領域5 医学コミュニケーション基礎	○前半		岩隈准教授	1		基礎
	H157000	領域5 社会疫学	○		近藤教授	2		基礎
MPH 必修	H154000	医学基礎Ⅰ（生理学Ⅰ）	○前半		西浦教授	2	「医療系」以外の出身者のみ、いずれか一つを選択必修。	基礎
	H163000	医学基礎Ⅰ（神経生理学）		○前半	西浦教授	2		基礎
	H153000	医学基礎Ⅰ（解剖学）	○前半		西浦教授	2		基礎
	H164000	医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）	○		和田特定教授	2		基礎
	H007000	医学基礎Ⅱ		○	尾野准教授・加藤准教授・塩見助教・山地助教・河田講師	2	「医療系」以外の出身者のみ必修。	基礎
	H008000	臨床医学概論		○	奥野講師・錦織助教・岩崎講師・星野特定講師・千葉非常勤講師	2		基礎
(別表)	課題研究	2年次		所属分野の指導員	4		—	
MPH 選択	H011000	医療統計学実習	○		佐藤教授	2		中級
	H084000	観察研究の統計的方法	○*		佐藤教授	2		応用
	H093000	文献検索法	○前半		高橋准教授	1		基礎
	H094000	文献評価法	○後半		中山教授	1		基礎
	H115000	ヘルスサイエンス研究の進め方	○*		中山教授	1		基礎
	H129000	医療の質評価	○後半		今中教授	1		中級
	H162000	毒性科学	○		原田准教授	2		基礎
	H103000	医療社会学・基礎	○後半		岩隈准教授	1		基礎
	S004000	統計遺伝学Ⅰ	集中*			2	2023年度は開講せず	中級
	H112000	臨床試験	○		田中司朗特定教授	2		中級
	H134000	統計家の行動基準	○*		佐藤教授	1		応用
	H143000	健康デザイン論	通年・集中*		中山教授	1		応用
	H136000	統計的推測の基礎	○		大森特定教授	2		中級
	H137000	生存時間解析		集中	大森特定教授	1		応用
	H138000	統計モデルとその応用		集中	大森特定教授	1		応用
	H142000	行政医学・産業医学	集中		今中教授	2		応用
	H145000	多重性の考え方	○前半		大森特定教授	1		中級
	M001000	アントレプレナーシップ	○		寺西非常勤講師	2		基礎
	M026000	メディカル分野技術経営学概論	○		山本非常勤講師	2		基礎
	M017000	知的財産経営学基礎	○		早乙女特定教授	2		基礎
	M021000	アントレプレナーシップ特論	集中		早乙女特定教授	2		応用
	M024000	特許法特論・演習（前期）	○		高山非常勤講師・東田非常勤講師	2		基礎
	N015000	遺伝医療と倫理・社会	○*		和田特定教授	2		基礎
	H040000	基礎人類遺伝学	○		和田特定教授	2		基礎
	N021000	臨床遺伝学・遺伝カウンセリング	○*		中島准教授	3		基礎

区分	科目コード	科目名	期間		担当教員	単位	備考	レベル
			前期	後期				
MPH 選択	N017000	遺伝医学特論（集中講義）	2年次		中島准教授	2		応用
	H158000	地域保健活動論		○前半	近藤教授	2		応用
	H020000	人間生態学		○	坂本准教授	2		基礎
	H021000	交絡調整の方法		○	大森特定教授	2		中級
	H022000	解析計画実習		○	大森特定教授	2		応用
	H159000	環境曝露・リスク評価		○	原田准教授	2		中級
	H032000	ベンチトレーニングコース (On the Bench Training Course)		集中	原田准教授	2		応用
	H099000	医薬品・医療機器の開発計画、薬事と審査		○	川上教授	2		応用
	H079000	医薬品の開発と評価		○後半	川上教授	1		中級
	M004000	契約実務演習		○	鈴木特定准教授	2		基礎
	M007000	知的財産法演習		○	當麻非常勤講師	2		中級
	M025000	特許法特論・演習（後期）		○	田中順也非常勤講師	2		中級
	M028000	創薬医学特論		○	早乙女特定教授	1		応用
	M022000	ゲノム科学と医療		○	松田教授	2		応用
	N018000	医療倫理学各論		○*	中島准教授	2		応用
	S005000	統計遺伝学Ⅱ		集中*		2	2023年度は開講せず	中級
	H130000	健康情報学Ⅰ		○	中山教授	2		中級
	H151000	健康情報学Ⅱ		○*	高橋准教授	2		中級
	H160000	質的研究・演習	通年・集中		岩隈准教授	2		中級
	H132000	エビデンスユーザ入門	通年*		古川教授	2		基礎
	H156000	質的研究入門	○後半		中山教授・河野特定助教	1		基礎
	H152000	環境・感染症論		○	山崎教授	2		中級
	H135000	臨床試験の統計的方法		○前半	田中司朗特定教授	1		応用
	H063000	フィールドワーク	通年・集中*		松田教授・田原教授	2	不開講	中級
	H061000	社会健康医学課外実習	集中		所属分野の指導員等	1-2	インターンシップ	—
	Z203000	グローバルヘルス通論		○	中山教授	2		中級
	H161000	感染症数理モデル入門	集中		西浦教授	2		応用
	H165000	ポストコロナ社会のイノベーション:展望と自由提言	通年		今中教授	2		応用
	H167000	QOL・PRO 評価法		○*	山本教授	1		中級
	H169000	公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション	集中		中山教授	1		応用
H170000	健康危機管理	通年		今中教授	1		応用	
限定 科目	H082000	医療経営特別カリキュラムⅠ	集中		今中教授	2	医療経営ヤングリーダー・プログラム 限定	応用
	H083000	医療経営特別カリキュラムⅡ		集中	今中教授	2		応用
	H053000	医療経営ケーススタディ	通年・集中		今中教授	2		応用
	K026000	臨床研究計画Ⅰ	○		川上教授	1	MCR 限定必修	応用
	K028000	臨床研究計画法演習Ⅰ	○		山本教授	1	MCR 限定必修	応用
	K030000	医療技術の経済評価	○前半		今中教授	1	MCR 限定必修	応用
	K027000	臨床研究計画Ⅱ		○	川上教授	1	MCR 限定必修	応用
	K029000	臨床研究計画法演習Ⅱ		○	山本教授	1	MCR 限定選択	応用
	K020000	EBM・診療ガイドライン特論		○	中山教授	1	MCR 限定選択	応用
	K025000	臨床研究データ管理学		○前半	田中（佐）特定教授	1	MCR 限定選択・CB 限定必修	応用
	K034000	臨床研究特論		○	石見教授	2	MCR 限定選択	応用
	K036000	系統的レビュー	夏季集中		古川教授	1	MCR 限定選択	応用
	K033000	データ解析法特論	○後半		山本教授	1	MCR 限定選択	中級
	K035000	社会疫学研究法	○後半		近藤教授	1	MCR 限定選択	中級
	N022000	基礎人類遺伝学演習		1年次	和田特定教授・吉田特定助教	1	GC 限定	応用

区分	科目コード	科目名	期間		主担当教員	単位	備考	レベル
			前期	後期				
	N006000	臨床遺伝学演習（ロールプレイ演習）		1年次*	和田特定教授・鳥嶋特定助教	1	GC 限定	応用
	N020000	遺伝カウンセラーコミュニケーション概論	通年*		和田特定教授	3	GC 限定	基礎
	N007000	遺伝カウンセリング演習 1	1年次（隔週）		川崎特定講師	2	GC 限定	基礎
	N008000	遺伝カウンセリング演習 2	2年次（隔週）		川崎特定講師	2	GC 限定	応用
	N009000	遺伝カウンセリング実習 1	1年次		中島准教授	2	GC 限定	基礎
	N010000	遺伝カウンセリング実習 2	2年次		中島准教授	4	GC 限定	応用
	H168000	遺伝サービス情報学	○後半		川崎特定講師	1	GC 限定	基礎
	H139000	臨床統計家の実務スキル	○		大森特定教授	1	CB 限定選択	基礎
	H144000	統計的推測の基礎・演習	○*		大森特定教授	1	CB 限定選択	中級
	H146000	メタアナリシス	集中		田中司朗特定教授	1	CB・MCR 限定選択	応用
	H140000	臨床研究実地研修 I	通年・集中		田中司朗特定教授	2	CB 限定必修	応用
	H147000	臨床研究実地研修 II	通年・集中		田中司朗特定教授	2	CB 限定選択	応用

MCR＝臨床研究者養成コース、知財＝知的財産経営学プログラム、GC＝遺伝カウンセラーコース、CB＝臨床統計家育成コース

限定科目：該当する特別プログラムの者に限り履修可。

[期間] *マークは、開講日注意。 [レベル] 基礎：予備知識を必要としないレベル、中級：一定の予備知識や経験を求めるレベル、応用：社会での実践や研究へ応用できるレベル、空欄：各シラバス参照

医学基礎 I（基礎人類遺伝学）と基礎人類遺伝学の両方を履修することはできない。

2022 年度までに「医療制度・政策」、「世界における医療制度・政策」、「行動経済学と健康医療介護」3 科目（各 1 単位）のすべてを取得した学生は、「医療制度・政策・経済」を修得しても修了に必要な単位に算入することができない。

※ 前年度以前開講科目の科目変更については、「(別表 3) 科目変更対応表」を確認すること

(別表 1) 課題研究及び博士課程セミナー科目コード

研究分野	科目コード		
	課題研究(専門職学位課程)	[MCR]	博士課程セミナー(博士後期課程)
医療統計学	I001000		J001000
医療疫学	I002000	L002000	J002000
薬剤疫学	I003000	L003000	J003000
ゲノム情報疫学	I004000		J004000
医療経済学	I005000	L005000	J005000
医療倫理学	I006000	L006000	J006000
健康情報学	I007000	L007000	J007000
医学コミュニケーション学	I016000		J016000
環境衛生学	I009000		J009000
健康増進・行動学	I010000	L010000	J010000
予防医療学	I011000	L011000	J011000
社会疫学	I020000		J016000
健康政策・国際保健学	I013000		J013000
環境生態学	I014000		J014000
人間生態学	I015000		J015000
知的財産経営学	M018000		
遺伝医療学(遺伝カウンセラー)	N901000		
臨床統計家育成コース(臨床統計学)	I019000		

(別表 2) 社会健康医学・臨床疫学研究(演習・実習)科目コード

科目名	科目コード
社会健康医学・臨床疫学研究(演習)	P033000
社会健康医学・臨床疫学研究(実習)	P034000

(別表 3) 案

令和 5 年度開講科目		令和 4 年度以前開講科目
科目コード	科目名(新)	科目名(旧)
H166000	医療制度・政策・経済	医療制度・政策 世界における医療制度・政策 行動経済学と健康医療介護
H167000	QOL・PRO 評価法	なし
H168000	遺伝サービス情報学	なし
H169000	公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション	なし
H170000	健康危機管理	なし
M028000	創薬医学特論	なし

◇専門職学位課程特別コース及び特別プログラムについて

<特別コース>

I. 臨床研究者養成（MCR）コース

(<http://www.mcrkyoto-u.jp/>)

(1) 学習達成目標

- ① 臨床研究を支える種々の基本理論、知識、実践技術に習熟すること。
- ② 自分の臨床上の疑問に基づいた臨床研究を計画し、研究プロトコルの作成、研究の実施・マネジメント、得られたデータの基本的な解析処理、結果の解釈、論文にまとめる、などの一連の作業を独力でできる。
- ③ 自分の臨床研究の計画・実施・解析・解釈の過程で生じる疑問について、適切な時期に、適切な専門家に、適切な相談・照会ができる。

(2) 本コースのカリキュラムの特徴

① 集中的な授業・実習

本コースでは、臨床研究の基本（理論、知識、方法、実践）を1年間で体系的に学習できるよう全体のカリキュラムが構成されている。加えて、本コース推奨科目以外にも社会健康医学系専攻が提供する殆ど全ての科目を履修することができる。なお、学生が入学前に取得した科目があり、既修得単位として認められれば履修が免除される。

② 個別指導（メンタリング）の重視

本コースの学生には、入学時に1～2名の個別指導担当教員（メンター）を決定し、この担当教員が責任を持って担当学生の研究プロトコルの作成やデータの解析の指導、および実際の研究計画実施上の指導を行なう。研究の種類にもよるが、必要に応じて2名が指導教員となることもある。この個別指導は、本コース在学期間のみでなく、双方の合意のもとに、修了後も、研究実施、結果解析、論文作成まで継続的に行うことを念頭につくられている。指導教員の決定にあたっては、学生本人と本コース教員の間で協議を行ない決定する。

③ 修了時の課題研究発表と試問

本コース修了時に、全ての学生は、自分の臨床上の疑問に基づく臨床研究を完成させ（研究プロトコルも認める）、発表会で試問を受け、合格する必要がある。

なお専門職大学院のため、修士論文などは課さない。

(3) 修了要件

科目	単位数
MPH コア 5 領域（コア領域 1－5 のすべての領域を含む 7 単位以上*） および MCR 必修科目	14
選択科目	12
課題研究	4
計	30

*詳細は、「MCR コース授業科目一覧表」を参照。

平成 28 年度以降入学者は、上記を適用する。

照会先：臨床情報疫学分野および各担当分野

令和5年度 社会健康医学系専攻 臨床研究者養成(MCR)コース 授業科目一覧表

区分	科目コード	科目名	期間		主担当教員	単位	備考
			前期	後期			
MCR 必修	K026000	★ 臨床研究計画法Ⅰ	○		川上教授	1	MCR 限定
	K027000	★ 臨床研究計画法Ⅱ		○	川上教授	1	MCR 限定
	K028000	★ 臨床研究計画法演習Ⅰ	○		山本教授	1	MCR 限定
	H001000	医療統計学	○		佐藤教授	2	【コア領域2】
	H118000	疫学Ⅰ (疫学入門)	○		中山教授	1	【コア領域1】
	H119000	疫学Ⅱ (研究デザイン)	○前†		山本教授	1	【コア領域1】
	K030000	★ 医療技術の経済評価	○前†		今中教授	1	MCR 限定
	H094000	文献評価法	○後半		中山教授	1	
	H112000	臨床試験	○		田中司朗特定教授	2	
	-	コア領域3の科目を最低1単位*				1	【コア領域3】
	-	コア領域4の科目を最低1単位**				1	【コア領域4】
	-	コア領域5の科目を最低1単位***				1	【コア領域5】
	L002000	課題研究：MCR (医療疫学)		通年	指導教員	4	指導教員が開講する課題研究を履修
	L003000	課題研究：MCR (薬剤疫学)					
L005000	課題研究：MCR (医療経済学)						
L006000	課題研究：MCR (医療倫理学)						
L007000	課題研究：MCR (健康情報学)						
L011000	課題研究：MCR (健康増進・行動学)						
L010000	課題研究：MCR (予防医療学)						
MCR 推奨 選択	K036000	★ 系統的レビュー	夏季集中		古川教授	1	MCR 限定選択
	K033000	★ データ解析法特論	○後半		山本教授	1	MCR 限定選択
	K020000	★ EBM・診療ガイドライン特論		○	中山教授	1	MCR 限定選択
	K029000	★ 臨床研究計画法演習Ⅱ		○	山本教授	1	MCR 限定選択
	K025000	★ 臨床研究データ管理学		○前†	田中(佐)特定教授	1	MCR 限定選択 CB 限定必修
	K034000	★ 臨床研究特論		○	石見教授	2	MCR 限定選択
	K035000	★ 社会疫学研究法	○後半		近藤教授	1	MCR 限定選択
	H129000	医療の質評価	○後半		今中教授	1	
	H011000	医療統計学実習	○		佐藤教授	2	
	H076000	基礎医療倫理学	○前†		中島准教授	1	【コア領域5】
	H075000	行動科学	○前†		田近准教授	1	【コア領域5】
	H021000	交絡調整の方法		○	大森特定教授	2	
	H022000	解析計画実習		○	大森特定教授	2	
	H130000	健康情報学Ⅰ		○	中山教授	2	
	H109000	医薬政策・行政		○前†	川上教授	1	【コア領域4】
	H079000	医薬品の開発と評価		○後半	川上教授	1	
	H099000	医薬品・医療機器の開発計画、薬事と審査		○	川上教授	2	
	H146000	メタアナリシス	集中		田中司朗特定教授	1	CB・MCR 限定選択
	H167000	QOL・PRO 評価法		○*	山本教授	1	

★ MCR 限定科目は、MCR 専科生および受講生のみ受講可能である。聴講は不可。

*コア領域3の科目とは、感染症疫学および産業・環境衛生学(西浦教授)であり、修了要件としていずれかの科目から1以上の単位取得が必要。

**コア領域4の科目とは、社会健康医学と健康政策(健康政策の運営委員会)、医薬政策・行政(川上教授)、保健・医療の経済評価、医療制度・政策・経済(今中教授)であり、修了要件としていずれかの科目から1以上の単位取得が必要。

***コア領域5の科目とは、行動科学(古川教授)、基礎医療倫理学(中島准教授)、医学コミュニケーション基礎(岩隈准教授)、社会疫学(近藤教授)であり、修了要件としていずれかの科目から1以上の単位取得が必要。

†開講日注意

※上記以外のシラバスに掲載されている MPH 科目(他のコース等の限定科目を除く)を選択科目として履修することができる(開講日時が同一の科目を同時に履修登録することは不可)。

II. 遺伝カウンセラーコース

(<http://sph.med.kyoto-u.ac.jp/class-06.html>)

(1) 遺伝カウンセラーコースの概要

ゲノム・遺伝情報を利用した医療、遺伝薬理学情報に基づいたテーラーメイド医療に対応できる高度な専門的知識と技術ならびにコミュニケーション能力をもち、患者・家族の立場を理解して新医療とのインターフェースとなりうる人材を総合的に養成する。

(2) 遺伝カウンセラーコースの特徴

- ① 充実したスタッフ：この分野でトップレベルの多数の指導者が社会健康医学系専攻の教員とともに充実した専門教育を行う。
- ② 社会健康医学の幅広い素養：社会健康医学コア科目を履修する。修了時には、社会健康医学修士(専門職)(Master of Public Health; MPH)の学位が授けられる。
- ③ 充実した実習：現場での実習に特に重点を置いており、京都大学医学部附属病院遺伝子診療部などでの充実した実習が可能である。
- ④ 資格認定試験受験資格：遺伝カウンセラーコース：コース終了後、「認定遺伝カウンセラー」資格認定試験受験資格が得られる。

(3) 修了要件

科目	「医療系」 出身者*	「医療系」 以外出身者
MPH コア 5 領域 (コア領域 1 - 5 のすべての領域を含むこと)	7	7
医学基礎 I (注1)、医学基礎 II、臨床医学概論	—	6
遺伝カウンセラーコース必修	2 9	2 7
課題研究	4	4
合計	4 0	4 4

※「医療系」出身者：医学部・看護学部・歯学部・薬学部・公衆衛生学部などの医療系学部の出身者

上記以外でかつ生物系等学部、医療系短期大学及び医療系専門学校出身者であっても医療系の国家資格を取得できるコースの出身者が「医療系」出身者として認定を希望する場合は、一括認定の対象とする。

「上記の一括認定されなかった者」で、「医療系」出身者としての認定を求める際は、入学時に申請が必要である。平成 28 年度以降入学者は、上記を適用する。

(注 1) 医学基礎 I として、「医療系以外出身者」は「医学基礎 I (「基礎人類遺伝学」) を履修すること。なお、「医療系出身者」は「基礎人類遺伝学」を履修すること (令和 4 年度以降入学者)。

(参考) 課題研究：

初年度の学習や実習経験に基づいて専門領域の発展にふさわしいテーマを見出し、テーマごとにもっとも適切な教員の指導のもと、遺伝医療および遺伝カウンセリングの臨床現場の質の向上に資するとともに、クライアントの QOL の改善につながるような研究を行い、とりまとめを行う。

照会先：遺伝医療学分野

令和5年度 社会健康医学系専攻 遺伝カウンセラーコース 授業科目一覧表

区分	科目コード	科目名	期間		主担当教員	単位	備考
			前期	後期			
コア領域 1	H118000	疫学Ⅰ（疫学入門）	○		中山教授	1	必修
	H119000	疫学Ⅱ（研究デザイン）	○前半†		山本教授	1	必修
コア領域 2	H001000	医療統計学	○		佐藤教授	2	必修
コア領域 3	H070000	感染症疫学	○後半		西浦教授	1	選択必修
	H124000	産業・環境衛生学	○		西浦教授	1	選択必修
コア領域 4	H166000	医療制度・政策・経済	○		今中教授	2	選択必修
	H127000	社会健康医学と健康政策	○		健康政策の運営委員会	2	選択必修
	H109000	医薬政策・行政		○前半	川上教授	1	選択必修
コア領域 5	H075000	行動科学	○前半		田近准教授	1	推奨
	H076000	基礎医療倫理学	○前半		中島准教授	1	GC 必修
	H077000	医学コミュニケーション基礎	○前半		岩隈准教授	1	推奨
MPH 必修	H164000	医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）	○		和田特定教授	2	「医療系」以外の出身者のみ必修。
	H007000	医学基礎Ⅱ		○	尾野准教授・加藤准教授・塩見助教・山地助教・河田講師	2	
	H008000	臨床医学概論		○	奥野講師・錦織助教・岩崎講師・星野特定講師・千葉非常勤講師	2	
	N901000	課題研究（遺伝カウンセラー）	2年次		所属分野の指導教員	4	
GC 必修	H040000	基礎人類遺伝学	1年次		和田特定教授	2	
	N015000	遺伝医療と倫理・社会	1年次		和田特定教授	2	
	N021000	臨床遺伝学・遺伝カウンセリング	1年次		中島准教授	3	
	N022000	基礎人類遺伝学演習		1年次	和田特定教授・吉田特定助教	1	GC 限定
	N006000	臨床遺伝学演習（ロールプレイ演習）		1年次	和田特定教授・鳥嶋特定助教	1	GC 限定
	N018000	医療倫理学各論		1年次	中島准教授	2	
	N017000	遺伝医学特論（集中講義）	2年次		中島准教授	2	
	N020000	遺伝カウンセラーコミュニケーション概論	1年次		和田特定教授	3	GC 限定
	N007000	遺伝カウンセリング演習 1	1年次（隔週）		川崎特定講師	2	合同カンファレンス
	N008000	遺伝カウンセリング演習 2	2年次（隔週）		川崎特定講師	2	合同カンファレンス
	N009000	遺伝カウンセリング実習 1	1年次		中島准教授	2	GC 限定
	N010000	遺伝カウンセリング実習 2	2年次		中島准教授	4	GC 限定
	M022000	ゲノム科学と医療		1年次	松田教授	2	
	H168000	遺伝サービス情報学	○後半		川崎特定講師	1	GC 限定
GC 推奨 選択	H157000	社会疫学	○		近藤教授	2	
	H156000	質的研究入門	集中		中山教授・河野特定助教	1	
	S004000	統計遺伝学Ⅰ	集中			2	参考科目、2023年度は開講せず
	S005000	統計遺伝学Ⅱ		集中		2	参考科目、2023年度は開講せず
	H093000	文献検索法	○前半		高橋准教授	1	
	H094000	文献評価法	○後半		中山教授	1	

※ GC = 遺伝カウンセラーコース

† 開講日注意

医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）と基礎人類遺伝学の両方を履修することはできない。

Ⅲ. 臨床統計家育成 (CB) コース

(<http://www.cbc.med.kyoto-u.ac.jp/>)

(1) 学習達成目標

- ① 臨床研究の科学的な質を保つために必要な統計学基礎および臨床統計学を修めること。特に「臨床試験のための統計的原則 (ICH E9 ガイドライン)」について十分に理解すること。
- ② 病院での臨床研究に関する実地研修を通じて、統計解析、データマネジメント等の実務を経験し、臨床統計家に求められる技術に習熟すること。
- ③ 臨床研究の倫理的な質を保つために必要な知識・態度を身に着けること。特に日本計量生物学会作成の「統計家の行動基準」について十分に理解すること。

(2) 本コースのカリキュラムの特徴

本コースは、臨床統計家の人材供給を求める日本の臨床研究現場からの強いニーズにより設置された2年制の専門職学位課程である。コース修了後は、臨床統計家育成コースを修了したことを証明する修了証とともに社会健康医学修士(専門職)が授与される。本コースでは、臨床統計家に必要な知識、技術、態度を2年間で体系的に学習できるよう、臨床統計関連科目だけではなく、医学、疫学、研究倫理などから全体のカリキュラムが構成されている。これに加えて、臨床試験を実施している京都大学医学部附属病院・国立循環器病研究センターと連携し、on the job training による臨床研究に関する実地研修を提供する(1年次・2年次の夏季集中で行う臨床研究実地研修Ⅰ・Ⅱ)。この実務経験を通じて、計画立案、データマネジメント、解析等、臨床統計学の実践的な技術を学ぶことができる。また、本コース推奨科目以外にも社会健康医学系専攻が提供する多くの科目を履修することができる。

(3) 修了要件

科目	「医療系」 出身者*	「医療系」 以外出身者
MPH コア 5 領域 (コア領域 1-5 のすべての領域を含むこと)	10	10
医学基礎Ⅰ ^(注1) 、医学基礎Ⅱ、臨床医学概論	—	6
臨床統計家育成コース必修	19	19
課題研究	4	4
合計	33	39

※「医療系」出身者：医学部・看護学部・歯学部・薬学部・公衆衛生学部などの医療系学部の出身者

上記以外でかつ生物系等学部、医療系短期大学及び医療系専門学校の出身者であっても医療系の国家資格を取得できるコースの出身者が「医療系」出身者として認定を希望する場合は、一括認定の対象とする。

「上記の一括認定されなかった者」で、「医療系」出身者としての認定を求める際は、入学時に申請が必要である。

(注1) 令和4年度以降は「医学基礎Ⅰ」として、「医学基礎Ⅰ(生理学Ⅰ)」「医学基礎Ⅰ(神経生理学)」「医学基礎Ⅰ(解剖学)」あるいは「医学基礎Ⅰ(基礎人類遺伝学)」のいずれか履修すること。

照会先：医療統計学分野および臨床統計学分野

令和5年度 社会健康医学系専攻 臨床統計家育成コース 授業科目一覧表

区分	科目コード	科目名	期間		主担当教員	単位	備考
			前期	後期			
コア領域1	H118000	疫学Ⅰ（疫学入門）	○		中山教授	1	必修
	H119000	疫学Ⅱ（研究デザイン）	○前半		山本教授	1	必修
コア領域2	H001000	医療統計学	○		佐藤教授	2	必修
コア領域3	H070000	感染症疫学	○後半		西浦教授	1	選択必修
	H124000	産業・環境衛生学	○前半		西浦教授	1	選択必修
コア領域4	H166000	医療制度・政策・経済	○		今中教授	2	選択必修
	H127000	社会健康医学と健康政策	○		健康政策の運営委員会	2	選択必修
	H109000	医薬政策・行政		○前半	川上教授	1	推奨
	H126000	保健・医療の経済評価	○前半		今中教授	1	推奨
コア領域5	H075000	行動科学	○前半		田近准教授	1	選択必修
	H076000	基礎医療倫理学	○前半		中島准教授	1	選択必修
	H077000	医学コミュニケーション基礎	○前半		岩隈准教授	1	選択必修
	H157000	社会疫学	○		近藤教授	2	選択必修
MPH 必修	H154000	医学基礎Ⅰ（生理学Ⅰ）	○前半		西浦教授	2	「医療系」以外の出身者のみ必修。ただし、医学基礎Ⅰ（生理学Ⅰ）・医学基礎Ⅰ（神経生理学）・医学基礎Ⅰ（解剖学）・医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）についてはいずれか1つを選択必修。
	H163000	医学基礎Ⅰ（神経生理学）		○前半	西浦教授	2	
	H153000	医学基礎Ⅰ（解剖学）	○前半		西浦教授	2	
	H164000	医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）	○		和田特定教授	2	
	H007000	医学基礎Ⅱ		○	尾野准教授・加藤准教授・塩見助教・山地助教・河田講師	2	
	H008000	臨床医学概論		○	奥野講師・錦織助教・岩崎講師・星野特定講師・千葉非常勤講師	2	
	I019000	課題研究（臨床統計家育成コース）	2年次		各指導教員	4	
CB 必修	H136000	統計的推測の基礎	○		大森特定教授	2	
	H134000	統計家の行動基準	○↑		佐藤教授	1	
	H011000	医療統計学実習	○		佐藤教授	2	
	H112000	臨床試験	○		田中司朗特定教授	2	
	H137000	生存時間解析		集中	大森特定教授	1	夏季集中講義
	H138000	統計モデルとその応用		集中	大森特定教授	1	夏季集中講義
	H021000	交絡調整の方法		○	大森特定教授	2	
	H022000	解析計画実習		○	大森特定教授	2	
	H135000	臨床試験の統計的方法		○	田中司朗特定教授	1	
	K025000	臨床研究データ管理学		○	田中（佐）特定教授	1	MCR 限定選択・CB 限定必修
	H140000	臨床研究実地研修Ⅰ	通年・集中		田中司朗特定教授	2	CB 限定必修（病院での実習）
H147000	臨床研究実地研修Ⅱ	通年・集中		田中司朗特定教授	2	CB 限定必修（病院での実習）	
CB 推奨 選択	H139000	臨床統計家の実務スキル	○		大森特定教授	1	
	H084000	観察研究の統計的方法	○↑		佐藤教授	2	
	H093000	文献検索法	○前半		高橋准教授	1	
	H094000	文献評価法	○後半		中山教授	1	
	H144000	統計的推測の基礎・演習	○		大森特定教授	1	CB 限定選択
	H145000	多重性の考え方	○前半		大森特定教授	1	

H079000	医薬品の開発と評価		○後半	川上教授	1	
H099000	医薬品・医療機器の開発計画、薬事と審査		○	川上教授	2	
M022000	ゲノム科学と医療		○	松田教授	2	
H130000	健康情報学Ⅰ		○	中山教授	2	
H151000	健康情報学Ⅱ		○	高橋准教授	2	
H146000	メタアナリシス	集中		田中司朗特定教授	1	CB・MCR 限定選択

※ CB = 臨床統計家育成コース

† 開講日注意

<特別プログラム>

I. 知的財産経営学プログラム

(1) 知的財産経営学プログラムの概要

大学の研究成果をもとに新規産業を興し経営するには、これまでの日本の企業風土で蓄積された企業文化、経営のノウハウとは異なるものが要求される。その一つが技術経営であり、特に知的財産を最大限に活用する知的財産戦略を担うディレクター（知的財産ディレクター）の仕事である。ここで期待される人材は、複数の異なるベクトルを持つ必要がある。

- ① 自然科学の分野において、医学研究科で先端医学領域の研究を実施している教員や産業界における探索・開発研究の経験が豊富な教員による講義により、トップレベルの科学的な知識とその活用に応じた社会的受容性の知識を習得してもらう。
- ② 人文・社会健康医学系専攻科学の分野において、知的財産権やその他ビジネスに関する基礎は、各専門分野により選ばれた教員の講義から知識を学ぶと共に、実業界でのキャリアを持つ講師（ベンチャーキャピタル分野）から、企業会計や知的財産の市場評価・流通の実務的なスキルと知識を学ぶ。
- ③ 上記により習得した知識をベースとして、実務経験を通じた知識の深化と、即戦力としての実務能力の養成を行う。具体的には、京都大学医学領域拠点業務との連携やエクスターンシップの実施も含めて、テーマ毎に適切な指導教員のもとで研究者とも連携し、研究成果の権利化と活用の実務を手伝う。実施項目としては、発明の抽出、周辺特許調査、明細書作成、ビジネスプラン作成、契約実務作業等を経験する。これらにより発明の開示から知的財産としての活用までの全体の流れを把握し、出願妥当性の判断に至る経緯の考察や産業界との連携における問題点と解決法に関する考察などのプレゼンテーションまで実際に経験させる。

これらにより専門職大学院として問題解決能力、実践・実務能力を身に付け、生命科学分野における知的財産経営、技術経営に関する高度な専門性を有する人材養成のための教育研究を行う。

(2) 修了要件

本プログラムの修了要件は、2年以上在学し、下記の30単位を修得し、本プログラムが定めるカリキュラムを修了することである。

【2022年度以前入学者】

	「医学部医学科」出身者	「医学部医学科」以外出身者
MPH コア5領域(コア領域1-5のすべての領域を含む)	7	7
知的財産領域必修	1 2	1 2
課題研究(知的財産経営学)	4	4
医学領域選択必修	3	3
選択	4	4
計	30	30

【2023年度以降入学者】

	「医療系」出身者	「医療系」以外出身者
MPH コア5領域(コア領域1-5のすべての領域を含む)	7	7
MPH 必須	—	6
知的財産領域必修	8	8
課題研究(知的財産経営学)	4	4
選択	1 1	5
計	30	30

照会先：知的財産経営学分野

令和5年度 社会健康医学系専攻 知的財産経営学プログラム 授業科目一覧表

区分	科目コード	科目名	期間		主担当教員	単位	備考
			前期	後期			
コア領域1	H118000	疫学Ⅰ（疫学入門）	○		中山教授	1	必修
	H119000	疫学Ⅱ（研究デザイン）	○前年		山本教授	1	必修
コア領域2	H001000	医療統計学	○		佐藤教授	2	必修
コア領域3	H070000	感染症疫学	○後半		西浦教授	1	選択必修
	H124000	産業・環境衛生学	○前年		西浦教授	1	
コア領域4	H166000	医療制度・政策・経済	○		今中教授	2	選択必修
	H126000	保健・医療の経済評価	○前年		今中教授	1	
	H127000	社会健康医学と健康政策	○		健康政策の運営委員会	2	
	H109000	医薬政策・行政		○前年	川上教授	1	
コア領域5	H075000	行動科学	○前年		田近准教授	1	選択必修
	H076000	基礎医療倫理学	○前年		中島准教授	1	
	H077000	医学コミュニケーション基礎	○前年		岩隈准教授	1	
	H157000	社会疫学	○		近藤教授	2	
MPH 必修	H154000	医学基礎Ⅰ（生理学Ⅰ）	○前年		西浦教授	2	「医療系」以外の出身者のみ必修。ただし、医学基礎Ⅰ（生理学Ⅰ）・医学基礎Ⅰ（神経生理学）・医学基礎Ⅰ（解剖学）・医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）についてはいずれか1つを選択必修。
	H163000	医学基礎Ⅰ（神経生理学）		○前半	西浦教授	2	
	H153000	医学基礎Ⅰ（解剖学）	○前年		西浦教授	2	
	H164000	医学基礎Ⅰ（基礎人類遺伝学）	○		和田特定教授	2	
	H007000	医学基礎Ⅱ		○	尾野准教授・加藤講師・塩見助教・渡部病室特定助教・河田講師	2	
	H008000	臨床医学概論		○	奥野講師・錦織助教・岩崎講師・星野特定講師・千葉非常勤講師	2	
	M018000	課題研究（知的財産経営学）	2年次		各指導教員	4	
知的財産領域必修	M001000	アントレプレナーシップ	○		寺西非常勤講師	2	一部科目で集中講義や不規則開講の形式をとるものもあり。各シラバスなどを確認すること。
	M026000	メディカル分野技術経営学概論	○		山本非常勤講師	2	
	M024000	特許法特論・演習(前期)	○		高山非常勤講師・東田非常勤講師	2	
	M004000	契約実務演習		○	鈴木特定准教授	2	
選択	M017000	知的財産経営学基礎	○		早乙女特定教授	2	
	M021000	アントレプレナーシップ特論	集中		早乙女特定教授	2	夏期集中講義
	M025000	特許法特論・演習(後期)		○	田中順也非常勤講師	2	
	M007000	知的財産法演習		○	當麻非常勤講師	2	
	M028000	創薬医学特論		○	早乙女特定教授	1	
	M022000	ゲノム科学と医療		○	松田（文）教授	2	
	H079000	医薬品の開発と評価		○後半	川上教授	1	
	M009000	薬理学 ^(医)	(春学期)		林教授	2	
	M027000	生化学 ^(医)	(春学期)		竹内教授	2	

注1：^(医)は医学部医学科の科目

注2：選択科目にはこの他にも、経済学研究科、法学研究科の関連科目を個別に単位認定する可能性があるため、指導教員に確認すること。

*開講日注意

(別表)

2023年度科目		2022年度科目	
区分	科目名	区分	科目名
選択	特許法特論・演習(後期)	知的財産領域必修	特許法特論・演習(後期)
選択	知的財産法演習	知的財産領域必修	知的財産法演習

選択	医薬品の開発と評価	医学領域選択必修	医薬品の開発と評価
選択	薬理学 ^(医)	医学領域選択必修	薬理学 ^(医)
選択	生化学 ^(医)	医学領域選択必修	生化学 ^(医)
選択	創薬医学特論		
		医学領域選択必修	病理学総論 ^(医)
		医学領域選択必修	生理学 ^(医)
		医学領域選択必修	発生学 ^(医)
		医学領域選択必修	遺伝医学特論（集中講義）

II. 医療経営ヤングリーダー・プログラム

(1) 医療経営ヤングリーダー・プログラムの概要

医療経営ヤングリーダー・プログラムは、高度専門職である医療経営幹部候補生およびこの領域の将来のリーダーを育成するためのプログラムであり、財務、会計、経営分析、市場分析、組織論・組織行動、組織文化の把握、質保証・業務改善、情報システム、法と倫理、関連ビジネス、政策・制度などについて学び、新たな教材や教育方法の創造にも参加し、経営実力者の人格と出会い、現場に身を置いて演習、調査、ケーススタディ等を行う。

当プログラムは、面接、審査の上、経営の素養と意欲のある人材、各年若干名を対象に開講する。ケーススタディに加えて、プロジェクト形式で、経営実例に直結する調査、分析、支援活動などを進め、情報収集、分析、妥当な計画立案、説得力ある討議、環境適応、変革・創造、行動の力を高めるべく訓練を行う。これらを通じて現実の医療経営に大いに貢献できる人材の基盤作りを行い、医療機関の将来の経営幹部、そして我が国の医療経営界において将来に主導的役割を担いうる人材の養成をめざす。

(2) 医療経営ヤングリーダー・プログラムの修了要件

- ① 社会健康医学系専攻専門職学位課程の修了のための要件を満たすこと
- ② 下記を全て履修すること

区分	科目コード	科目名	単位	時期
コア領域4	H166000	医療制度・政策・経済	2	前期
コア領域4	H126000	保健・医療の経済評価	1	前期前半
MPH 選択	H129000	医療の質評価	1	前期後半
限定	H082000	医療経営特別カリキュラムⅠ	2	前期
限定	H083000	医療経営特別カリキュラムⅡ	2	後期
限定	H053000	医療経営ケーススタディ	2	通年
MPH 必修	I005000	課題研究（医療経済学分野）	4	—

※前年度以前開講科目の科目変更については、「(別表) 科目変更対応表」を確認すること。

- 社会健康医学系専攻の多くの科目の選択を自ら設計して積極的に履修することを強く推奨する。
- さらに、経営管理大学院、公共政策大学院、または経済学研究科の科目を履修することを強く推奨する。
- また、当該分野でのセミナーに積極的に参加することが求められる。

- ③ 課題研究で医療経営に関わる課題に取り組むこと

照会先：医療経済学分野